# シラバスでの DWCLA10 記載について（お願い）

教務部長
前川　京子

## DWCLA10 について

本学の教育理念の１つとしている**リベラル・アーツ教育では、**幅広い分野の学習を通して広い視野を拓く**教養教育と**深い知識や技能を体系的に身につける**専門教育に加え**、どの分野の学問を専攻する場合にもまた社会のどの分野に進む場合にも必要とされる、**学士としての基礎的・汎用的能力の獲得が重視されます。**

本学ではこれまでもこのような基礎的・汎用的能力の涵養に力を注いできましたが、このような**基礎的・汎用的能力を、「同志社女子大学の学生に卒業までに身につけてもらいたい 10 の力」として学生にもわかりやすい具体的な言葉で表現し、また本学の英語名称である Doshisha Women's College of Liberal Arts にちなんで、「DWCLA10」と略称し、その涵養にいっそう努めて行こうと考えています。**

DWCLA10 の内容は、裏面の通りです。それぞれの力についての説明は、定義ではなく、それぞれの力の例示とお考えください。これらの力は学生にとって卒業後の長い人生においてどの分野に進む場合にも共通して必要となるものであり、卒業までにしっかりと身につけてもらいたいと考えている力です。

## DWCLA10 のシラバス上での表示について

**本学は、このような基礎的・汎用的能力の涵養にも力を注いでいる大学であることを学生にも知ってもらい、学生自らも授業科目の履修を通して、このような力の獲得にもいっそう自覚的に取り組んでもらいたいと考えています。**

しかし、これらの基礎的・汎用的能力はそれ自体を教えられるものでもそれ自体を学べるようなものでもありません。それらは、すべての授業科目において学問を修得していく過程で結果として身についてくるものであると考えます。

そこで**本学では、個々の科目のシラバスに、学生が履修していく過程で結果として身につくことが期待される DWCLA10 の力のいくつかを表示し、学生に自覚的・積極的な学習を促したいと考えています。**勿論、1 つの科目で DWCLA10 の力のいくつかが目に見えて身につくということは考えておりません。これらの力は卒業までに履修するすべての科目の積み重ねによって、あるいは、課外活動等をも通して卒業までに少しずつ身につけていくものだと考えています。

**つきましては、個々のシラバスの『獲得が期待される基礎的･汎用的能力 DWCLA10』の欄に DWCLA10 の内、ご担当科目の履修の結果として身につくことが期待できる力から 1 つ以上 3 つ程度選択してください**ますよう、お願い申し上げます。

本学でのこの DWCLA10 の取り組みは、先生方の授業方法を直ちに変えてください、という趣旨のものではございません。ただし、ご担当いただく科目におきまして、専門分野の知識や技能を教えていただく過程でこのような力の一部分を少しでも身につけさせようと意識して授業を進めていただければ幸いだと考えています。受講者数によっても教育方法は制約を受けますが、先生方におかれましては、これらの力を獲得させることをこころの片隅にでも置いて授業を進めていただきたいというのが趣旨でございます。

繰り返しになりますが、個々の授業だけでこのような能力がただちに身につくものではありません。そのことは学生には別途周知いたしますので、学生から授業アンケート等で「シラバスに記載の DWCLA10 の能力が身につかなかった」と考えるのは早計であることを周知徹底いたします。

なお、「獲得が期待される基礎的・汎用的能力」欄の DWCLA10 は、このような趣旨のものであるため、成績評価の対象となるものではありません。成績評価の対象となる能力については、「到達目標」や「成績評価基準」に明確にご記入ください。先生方におかれましては、このような趣旨をご理解いただき、どうかご協力くださいますようお願い申し上げます。

DWCLA10

1. 分析力
   - ・情報を収集し分析する力
   - ・現状を分析し目的や課題を明らかにする力
   - ・自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する情況把握力

2. 思考力
   - ・自ら考える力　　・論理的に思考する能力

3. 創造力
   - ・既存の概念に束縛されない自由な発想力
   - ・既存のものを組み合わせて新たな価値を生み出す力

4. プレゼンテーション力
   - ・自分の意見を分かりやすく伝える発信力　　・説得力

5. コミュニケーション力
   - ・世代、国籍、専門を越えた意思疎通・共感力
   - ・外国語能力
   - ・文字、言葉を越えた意思疎通
   - ・相手を尊重した聴く力　　・意見の違いや立場の違いを理解する力

6. リーダーシップ
   - ・課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する計画力
   - ・目的を設定し確実に実行する力
   - ・他人に働きかけ巻き込む力
   - ・チームで問題解決できるコラボレーション力

7. 思いやる力
   - ・違いを尊重する能力（個人レベル、社会・文化レベル）
   - ・相手の気持ちになって行動する力

8. 変化対応力
   - ・複眼的な広い視野
   - ・社会的変化、自己を取り巻く環境変化への対応力
   - ・過去にとらわれない自由な発想力

9. 自己管理力
   - ・社会のルールや人との約束を守る規律性　　・倫理観
   - ・ストレスコントロール力：ストレス発生源に対応する力

10. 自己実現力
   - ・自己の適性を把握し伸ばす力
   - ・社会の未来像と自己の将来像を見通す力
   - ・自己の能力を発揮しつつ社会に貢献しようとする意欲
   - ・生涯学習力